

平成27年度 地域ケアプラザ事業報告書

1 施設名

上菅田地域ケアプラザ

2 事業報告

地域の現状と課題について

エリア内の高齢化率が50%以上になる2つの大きな県営住宅では、独居高齢者または高齢者夫妻世帯、精神障害、認知症の方たちなど多数暮らされています。その方たちの支援に対して地域の自治会、地区社会福祉協議会、民生委員児童委員協議会等の活動は活発に行われていますが、後継者不足等の課題があります。

施設の適正な管理について

ア 施設の維持管理について

- ・ エレベーター保守点検の実施
- ・ 自動ドアの定期点検
- ・ 定期的なジュータン清掃の実施
- ・ 防火管理の遂行
- ・ 受電設備の保守点検の実施
- ・ 飲料水の受水槽清掃の実施
- ・ 水質検査の実施
- ・ ボイラー点検

イ 効率的な運営への取組について

- ・ 省エネ経費削減対策として、照明のLED化を図りました。
- ・ 施設運営については、法人本部との連携において人事、労務、経理について業の役割分担を行い、効率化を図りました。

ウ 苦情受付体制について

・ 苦情受付は、「上菅田地域ケアプラザ相談窓口」を設け、掲示し利用者の方々に周知しました。また、「なんでもご意見箱」を常時設置し、苦情をはじめ、ご意見・ご要望等を受け付ける体制を整えています。

エ 緊急時（防犯・防災・その他）の体制及び対応について

- ・ 法人が制定している「災害対策マニュアル」を基本に体制を整え、今年度は、法人が運営管理している「ライフメール」（職員の携帯電話による安否確認）の訓練を2回実施しました。
- ・ 特別避難場所としての「上菅田地域ケアプラザ災害対応マニュアル」を制定し、体制を整えました。また、横浜市からの追加の物資補給を受けました。
- ・ 地域の防災拠点運営委員会（新井小学校地域防災拠点管理委員会）に参加しました。また、新井小学校地域防災拠点での避難訓練にも参加し、連携を図りました。
- ・ 千丸台商店街「ふれあい館」の防犯パトロールに参加し、連携を図りました。また、無線機を設置し緊急時の連絡体制を強化しました。

オ 事故防止への取組について

- ・ 全職員が事故の未然防止の意識を持って業務に当たり、常に危機意識を持って対応をしました。
- ・ 通所介護事業においては、朝の打ち合わせ時に必ず利用者の方々の状態の確認をし、事故防止に努めました。
事故報告、インシデント報告は速やかに行い、会議等で検証・検討し、事故再発防止に努めました。

カ 個人情報保護の体制及び取組について

- ・ 個人情報保護の取組として、年度初めの職員会議、新規採用時、異動等の際に必ず研修を行い、職員の意識確認・向上に努めました。
- ・ 個人情報が記載されている書類等は、施錠がされている棚に保管をし、基本的には持ち出し禁止として個人情報保護に努めました。

キ 情報公開への取組について

- ・ 地域ケアプラザの情報に関しては、広報紙「まんまるだい通信」を毎月発行し広く地域に伝えました。また、ホームページにも活動状況を掲載し、広報に努めました。
- ・ 通所介護事業については、新聞「ひまわり」の発行により利用者の方々やご家族に活動について広報しました。
- ・ 利用者本人又は家族よりサービスの内容・情報等の閲覧希望があれば適宜開示できる対応に努めました。

ク 人権啓発への取組について

- ・ 27年度はデイサービスの月例会議で、認知症の利用者さんに対する家族対応、介護・医療の連携など50事例の読み合わせを実施し、そのケースについて話し合う時間を確保した。認知症で苦しむ利用者さんや家族への共感を通して人権に関する学びとした。

ケ 環境等への配慮及び取組について

- ・ 県の条例に基づき、館内及び敷地内の禁煙を実施し、利用者の方々にも協力をしていただきました。
- ・ 日々の清掃を基本とし、また定期的な業者による館内清掃を実施し、環境衛生を優先事項として取り組み、利用者の方々への快適な環境の提供に努めました。

介護保険事業

◆介護予防支援事業

職員体制

管理者	1名（常勤兼務）
保健師等	1名（常勤兼務）
主任介護支援専門員	1名（常勤兼務）
社会福祉士	1名（常勤兼務）
プランナー	1名（常勤兼務）

目標に対する取組状況

- ・ご本人が希望のもてる将来像をイメージすることができるように支援して、且つそのイメージを目標とし一緒に行動することができるよう信頼関係作りに努めました。
- ・フォーマル及びインフォーマルサービスを有効活用していき、地域における各種関係機関とも連携しながら独自の支援計画の作成に努めました。

実費負担（徴収した場合は項目ごとに記載）

その他（特徴的な取組、PR等）

- ・各地域で開催している教室や会合、サロン等に積極的に参加をし、介護予防の普及や情報提供に努めました。
- ・当ケアプラザは来所するには交通が不便という意見が以前より多くあり、継続して地域に出向いて介護予防教室や講座など多く開催して、地域の方たちの交流の場づくりに努めました。

利用者実績（単位：人）

4月	5月	6月	7月	8月	9月
154	158	154	164	163	170
10月	11月	12月	1月	2月	3月
175	175	176	172	180	179

◆居宅介護支援事業

職員体制	
管理者	1名（常勤兼務）
介護支援専門員	2名（常勤兼務）
介護支援専門員	1名（非常勤専従）
事務員	1名（常勤兼務）

目標に対する取組状況
在宅での生活を希望する要介護者・家族にとって必要と思われるサービスについて、情報提供をさせていただきながら、適切なケアプランを作成するよう努めました。

実費負担（徴収した場合は項目ごとに記載）

その他（特徴的な取組、PR等）
独居や身寄りのない方・困難ケースなどを積極的に受け入れるよう努めました。包括支援センター・民生委員・サービス提供事業所・主治医・その他関係機関との連携を図りながら、質の良いサービスが提供できるよう努めました。

利用者実績（単位：人）

4月	5月	6月	7月	8月	9月
71	76	79	76	76	82
10月	11月	12月	1月	2月	3月
78	82	84	83	82	82

◆通所介護事業

提供したサービス内容

- ・入浴サービス
- ・食事サービス
- ・レクリエーション

実費負担（徴収した項目ごとに記載）

○ 1割負担分	
(要介護1)	780円
(要介護2)	910円
(要介護3)	1,045円
(要介護4)	1,180円
(要介護5)	1,315円
○ 食費負担	500円

事業実施日数、提供時間

○事業実施日数 1週 6日 ○提供時間 9:35～16:40

職員体制

・生活相談員・介護スタッフ	常勤	2名
・介護スタッフ	非常勤	13名
・看護師	非常勤	3名
・調理スタッフ	非常勤	3名
・運転スタッフ	非常勤	4名

目標に対する取組状況

・個別プログラムでは、火曜日と土曜日にボランティア2名に来て頂いて、絵手紙の充実が図れた。小物作りも季節に応じた作品を考え提供出来た。また、ご自身で選んだプログラムやレクリエーションを通じ他者交流も円滑に行えるよう支援出来た。

その他（特徴的な取組、PR等）

- ・新しくデイサービスのパンフレットを作成し、PRを行った。
- ・お楽しみ弁当も好評でした。

利用者実績（延べ人数／単位：人）

4月	5月	6月	7月	8月	9月
352	370	352	344	355	367
10月	11月	12月	1月	2月	3月
370	322	316	315	314	371

◆介護予防通所介護事業

提供したサービス内容

- ・入浴サービス
- ・食事サービス
- ・レクリエーション

実費負担（徴収した項目ごとに記載）

- 1割負担分
 （要支援1） 1,800円
 （要支援2） 3,753円
- 食費負担 500円

事業実施日数、提供時間

- 事業実施日数 1週 6日
- 提供時間 9:35～16:40

職員体制

- ・生活相談員・介護スタッフ 常勤 2名
- ・介護スタッフ 非常勤 13名
- ・看護師 非常勤 3名
- ・調理スタッフ 非常勤 3名
- ・運転スタッフ 非常勤 4名

目標に対する取組状況

- ・円滑な他者交流、社会参加が出来るよう、個別プログラムやレクリエーションを通して支援が行うことができた。火曜日、土曜日にボランティアに来ていただき、充実した絵手紙の時間を楽しんでもらえた。

その他（特徴的な取組、PR等）

- ・新しくデイサービスのパンフレットを作成しPRを行った。
- ・お楽しみ弁当も好評でした。

利用者実績（延べ人数／単位：人）

4月	5月	6月	7月	8月	9月
80	78	73	83	93	81
10月	11月	12月	1月	2月	3月
91	78	76	83	92	93

地域ケアプラザ

1 総合相談（高齢者・こども・障害分野への対応）

- ・毎月発行の「まんまるだい通信」に総合相談機関であることを掲載し、地域に発信をしました。
- ・今年度は、笹山、千丸台ぶらざカフェとして定着し、相談だけでなくカフェとしての活動が活発になり参加者の増員を行いました。笹山ぶらざカフェには毎回30人を超える方々が参加されています。また、千丸台ぶらざカフェの協力医の健康相談会には、毎回10人を超える参加があります。
- ・地域の3地区の民児協に参加することができ、連携を強化することができました。

2 地域活動交流部門・地域包括支援センターの連携

- ・地域ケア会議に4職種が参加し地域の課題への取り組みを行いました。
- ・今年度も千丸台団地のふれあい収集（ゴミだしお助けマン）の事業において地域の民生委員、地域包括支援センター、地域活動交流部門、てらん広場、資源循環局が連携を取り事業を行いました。利用者の中には、地域との関係（民生委員、地区社会福祉協議会等）が全く無い方が、ふれあい収集を利用されていて、週3回てらん広場の利用者と交流をされています。

3 職員体制・育成

- ・職員体制は、配置基準を厳守し（欠員無し）、適切な業務を行えました。
- ・職員育成は、OJTを基本とし現場での先輩職員のアドバイス等適切に行いました。また、外部研修にもできる限り参加をし、自己研鑽を行った。研修後は記録を作成し、会議等で報告を行いました。
- ・「私ができる地域包括ケア」をテーマ一人ひとりが発表する研修を行いました。

4 地域福祉のネットワーク構築

- ・「ふれあい館」の事業に近隣の白根地域ケアプラザ、上白根地域ケアプラザの参画を促しましたが、積局的な参加が得られずネットワークの構築ができませんでした。
- ・上菅田エリア要保護児童対策地域協議会の立ち上げに伴い、子育て支援連絡会のメンバーに地域の小中学校（新井小、上菅田小、笹山小、新井中、上菅田中）の参画をしていただき、ネットワークを構築いたしました。特に、主任児童委員、民生委員の方々と学校の地域担当の先生方の連携ができ、定期的な話し合いで情報交換をおなわれています。

5 区行政との協働

- ・地域福祉保健計画においては、職員の担当地区制を取り地域の会議に積極的に参加をすると共に、計画の実施にも積極的に参加をしました。
- ・上新地区社協のボランティア部会立ち上げに積極的に参加をしました。会議で常に建設的な提案を行い、ボランティア部会設立に尽力しました。

地域活動交流部門

1 福祉保健活動等に関する情報収集及び情報提供

- ・各地域の出張相談会や地域の会合、イベント等に参加し民生委員、自治会役員、地域住民等と連携して、情報提供や情報交換を行いました。
- ・各自治会を通して配布していただいている広報紙「まんまるだい通信」に地域のイベント情報を掲載し、情報提供をしました。また地域の活動団体や会合、ぷらざカフェ等に事業のチラシ等を持参し地域包括、地域交流部門と連携してケアプラザのPR活動を積極的に行いました。
- ・保土ヶ谷区のほっとなタウンマップにて、広報紙の情報提供をインターネットを通して行いました。
- ・「ふれあい館便り」を発行し、千丸台、新井町、白根、上白根に回覧し、ふれあい館で活動している教室の紹介、ふれあい館の利用方法、千丸台商店街の店舗紹介、買い物おたすけマンの紹介、その他地域イベント情報を発信しています。
- ・6月の子育て支援連絡会にエリア内小中学校との情報交換の場として設けました。主任児童委員も先生とのつながりがなく、顔の見える関係になることができました。今後も定期的に合同の連絡会を開催していきたいと思えます。

2 福祉保健活動団体等が活動する場の提供

- ・利用団体に向けてアンケートを実施し、意見を聞くことにより課題を検討しました。また内容の振り返りを行い、アンケート集計を模造紙で作成し、多目的ホールに掲示しました。年初めには集計に沿ってケアプラザの利用方法や災害時の対応等を福祉保健活動団体等に発信します。
- ・上菅田地域ケアプラザが「地域のたまり場」として気軽に足を運んでもらえるよう、プラザ玄関前のコーヒーカウンターをボランティアの協力によって活用しています。利用団体の交流の場としても活用されているので、そこで貸室の空き状況を発信しています。また、その場にコーディネーターもしくはサブコーディネーターが入り、利用団体の意見、要望を聞いています。プラザ側では気づきにくい課題等を知ることができ、利用率のアップに努めました。
- ・福祉保健活動団体のスケジュールをカレンダーまとめ、掲示しています。掲示することで、貸室の空き状況を地域に発信し、活動への参加を促しています
- ・貸室団体発表会「ケアプラ文化祭」を12月に開催しました。福祉保健活動団体の発表の場を設け、地域住民への参加を募り、他団体同士の交流を図りました。当日は11団体の演奏会、4団体の展示、3団体のパネル展示がありました。開催したことで団体のモチベーション向上に繋がり、当日は教室への申し込みもありました。今後も継続していきたいと思えます。

3 自主企画事業

- ・毎月開催している地域交流会議では、サブコーディネーターと情報交換し、地域のニーズに合った自主事業を検討しました。自主事業を実施していく中で出てくる新たな課題に関しては、地域交流の中で意見交換し、対策を練りました。
- ・地域から手話教室の要望があり、1/16 からてらん茶屋で手話教室ひまわりを始めた。地域の方が中心となり、手話をしながら歌っている。てらん茶屋自体も記念イベントやスタンプカードなどの工夫により、参加者が増え、現在では毎回満員となっている。
- ・昨年、子育て支援連絡会と連携し開催した映画「うまれる」の続編、「うまれるずっといっしょ」上映会を開催しました。上菅田小学校で開催された「ほっとな福祉健

康祭り」に合わせて開催したことで地域役員の方々にも観て頂き子育て支援の理解を深めて頂きました。

- ・ 障害児放課後支援事業の情報を集め、ケアプラザとしてできる障害児支援をコーディネーター間で話し合いました。
- ・ 常盤台、川島、上菅田エリアで親子を対象にした障害児余暇支援クルージングを開催しました。
- ・ ふれあい館でコーヒーマシンの淹れ方講座を1月に開催予定です。
- ・ 区内障害児余暇支援は主に知的障害児を対象としたプログラムが多く身体障害のある子どもはなかなか参加できませんでした。そこで上菅田特別支援学校に通う子どもを対象にした事業を開催しました。また、地域のシニア世代をボランティアとして巻き込み地域住民の交流も図りました。内容は上菅田特別支援学校にて夕涼みコンサート、模擬店、花火を実施しました。
イベントにボランティアとして参加した地域のシニア世代＝上新のボランティア部会の方には上新の自治会長もいて、初めて触れ合って楽しかったなどの声があった。学校の外出プログラムに上新の自治会長が参加することになるなど、イベントをきっかけに地域と結びつけることができた。

4 ボランティアの育成及びコーディネート

- ・ 区社協ボランティアセンターにボランティア募集チラシを置いていただき、常に情報交換をすることで、連携して、ボランティアのコーディネートをすることができました。また、今年度からボランティアセンターとさらに連携していくためにコーディネーターとの話し合いを行います。
- ・ 近隣保育園、小・中学校等のボランティアを、デイサービスや同法人内の障害者施設などで受け入れ、またミニデイサービスやお祭りや夏のこどもプール等の単発行事でも子どもたちのボランティア受け入れを行いました。
- ・ チラシや広報紙などを使い、専門性の高いボランティアから気軽に参加できるボランティアまで幅広く募集し、受け入れしました。
- ・ 自主事業のボランティアだけでなく、地域への活動拡大をも視野にいれながらの活動実施を推奨・支援しました。例えば、ふれあい館、転骨OB会、自治会、夏祭り、障害者施設などにボランティアのコーディネートを多数行っています。
- ・ 今後も上新地区のボランティア部会と連携して地域の担い手育成を目指していきます。
ボランティア部会は3部会で構成されており、高齢者・障害者部会には保健師、子ども部会にはコーディネーター、防災・環境部会には所長が配置され今後の方向性を検討していきます。
- ・ 笹山地区でちょいボラが立ち上がりましたが、活動には至っていない為、今後も協働して進めていきたいと思えます。
- ・ 今年度からボランティア相談会を月1回設け、気軽に参加できるよう図ったつもりでしたが、年間通して参加者は0でした。
今後のボランティア育成、コーディネートを再検討していきます。

地域包括支援センター

1 総合相談・支援

総合相談

包括当初から地域に出ていくスタンスを通して行って、主に団地集会所をお借りしてのカフェ(サロンのような場所)作りを続けていき、民生委員さんや介護保険事業所の参加を頂き担当地域の状況把握に努めている。

前年度の評価から振り返ると認知症の項目にも当てはまるが、メイトをきっかけにカフェで活躍してくださる役員さんも出てくれて活動が定着している。

地域包括支援ネットワークの構築

ほっとなまちづくり(地域福祉保健計画の策定)を通じて、地域ごとに懇談会などをもち、いわゆる役員のみならずあんしん訪問員など実際に地域で接している方たちとも情報共有化を行ってきた。

包括が一時期2人体制となり地域ケア会議開催のブランクが空いてしまったが、常に地域包括ケアシステム構築の意識は持ちつづける為にも、民児協などにおいて開催説明を心がけている。今年度、各地区1回ずつ開催する目標到達は難しいが、年間通して3回行う計画はある。

民児協においては各地区の実情に配慮しつつ、定期的に参加して情報交換を行っている。笹山地区は年に2回と千丸台地区及び上新地区は隔月ごとに参加している。

実態把握

実態把握という点では毎月行っている包括ミーティングにおいて、区の協力もいただきつつ相談票から見えてくる担当地域の課題を分析しつつある。今年度においては効果的な新規の事業展開までにはなかなか至らなかったが、関係機関との連携から見えてくるニーズに合わせたものを次年度は展開していきたい。

2 権利擁護

権利擁護

上新地区においてはこちらの提案がうまく伝わらないなどあり、実際に終活講座開催には至らなかった。しかし、千丸地区及び笹山地区においては行政書士の協力による各2か月連続での相談会を開催する。実際にはすぐに必要としている方たちと結びつくことは難しいが、繰り返し周知していくことにより、本来必要としている方につながる事となる。少しずつ理解は広まっていると実感している。

サポートネットにおいては区、区社協、包括合同により、市民後見人交えての研修を重ねている。今年度は初めて施設相談員との意見交換会も設けて、実態把握にも務めている。またインタビューという形式をとり、社会福祉士という視点も持ちながら直接生の声を聴き、実際のサポートネット事業にも効果が表れている。

尚、まだ区内においても市民後見人が受任している方が少ない現状があり、地域において認知度もまだまだ無い中で、認知を広めていく活動継続が課題としてある。

高齢者虐待

包括単体での虐待予防について取り組むにはテーマも大きいため、今年度は区内包括全体事業としてケアマネ向けに虐待の定義から事例に基づく話しまで講座を行う。主任ケアマネと合同の事業として行う。区内事業所においてはケアマネの入れ替わりは多くて、改めて虐待について学ぶ良い機会となる。

当エリアでは施設見学会を通じて、施設への理解を深めていき、レスパイトケアの重要性やいずれ必要とされる方々への理解など続けている。

認知症

今までになく大きな成果としては区、区社協、包括代表で認知症理解を広めることと医療連携という目的で、育生会横浜病院において横山先生を招いての講演会を行う。その際に地域包括としての役割説明も行い、地域と医療とケアプラザを結び付けることに有効な企画となっている。当エリアとはあまり接点はなかったが、今後につながる重要な内容となる。

また、当エリアにおいて行っているオレンジロバの会では、目標である各地区1以上の目標を越えて受講ができ、メイトの人数も増えて計30人となっている。継続して小・中学校での開催していくことと、上新地区でのサロン定着を次年度以降に目指していきたい。

更にメイトが増えることにより、上菅田地域CP独自の徘徊見守りネットワークである登録者も増えて意識も高まっている。

3 介護予防マネジメント

二次予防対象者把握

自身の長期休職により事業計画を実施できなかつた為、二次予防事業対象者及び訪問型介護予防対象者の把握に至らなかつた。

次年度開始となる総合事業に向けて、何らかの支援が必要な方への早期介入と介護予防活動支援を進めていきたい。

介護予防ケアマネジメント力

同上により、事業計画を実施できず、次年度への課題とする。

4 包括的・継続的ケアマネジメント支援

地域住民、関係機関等との連携推進支援

- ・千丸台、笹山、上菅田の各地域で定期的開催されている会議や集まりに積極的に参加し、地域住民と関係者への情報提供と情報の共有、連携に努めました。また関係機関と地域の情報や課題などを検討し、課題解決に向けて話し合いました。さらに隔月で千丸台民児協、上新地区の民児協へ参加し、民生委員からの個別ケースの相談や、情報提供、情報交換に努めました。
- ・定期的に行う「ケアマネ連絡会」や地域で開催している相談会を通して、ケアマネジャーへ地域情報、インフォーマルサービスの提供や民生委員との連携について支援しました。事業所訪問に関してはあまり実施できていない状況なので、来年度は

積極的に実施できたと思います。

- ・地域のインフォーマルサービスや関係機関の情報収集と整理に努め、既存のマップの更新を行い、ケアマネジャー、地域住民、関係機関への情報提供を行いました。
- ・「ぷらざカフェ」は地域の方からの声掛け等によって参加者が定着し、内容も少しずつ充実してきました。講師を依頼しての講座や教室、軽食作りなどを実施し、多くの地域住民に参加してもらい情報の提供を行いました。

○「ぷらざカフェ千丸台」月2回開催（しゃべり場と何でも相談会）

- ・講習会&相談会&おしゃべり会
- ・藤田先生のミニ講座
- ・生活支援センター相談会

毎月2回計画通り実施しましたが、毎回10名~25名ぐらいまでの参加があり大盛況でした。

課題としては、生活支援センターと共催の相談会に参加者がほとんどいないので、今後どのように開催していくか現在検討中です。

○「ぷらざカフェ笹山」月1回開催（相談会と小物作り&麻雀・囲碁将棋&太鼓教室の実施）

全10回計画通り開催

カフェの企画にも関わってくれている役員の声掛けで、参加者が増え定着してきました。毎回平均25名前後の参加があります。

また太鼓・麻雀・小物作りに加えて、囲碁・将棋を提供していますが、それぞれの活動が充実してきています。

今後、認知症カフェとしての取り組みを充実していくために、認知症の方の参加をどのように広げていくか現在検討中です。

○千丸台報連絡会&ほとなまちづくり会議（奇数月6回実施）

毎回意見が出ないので、今年度はグループに分けて開催したところ普段発言の無い方からの声を聞くことが出来ました。

○笹山支えあい連絡会

（6月実施、来年2月開催予定）

情報交換会を行いました。

○笹山地区ほとなまちづくり会議

○上新地区ほとなまちづくり会議

○地域ケア会議（2回実施）

- ・9月16日：笹山地区ケース

テーマ：

- ・12月17日：笹山地区ケース

テーマ：

- ・2月開催予定

○ケアマネ連絡会

- ・「20日会」2回実施

7月：民生委員との連絡会

3月予定：医療と介護の連携

医療機関、民生委員、ケアマネジャーとの連絡会

- ・区内7包括共催の合同ケアマネ連絡会実施

計画通り4,5,6,9,10,11,12月の全7回、講師を依頼して研修会を実施しました。年間通して参加者が多く、テーマも充実していて好評でした。

2月予定：多職種連携

○マップの更新をしてエリア内居宅支援事業所に差し替え配布中。

医療・介護の連携推進支援

- ・定期的に開催している「ケアマネ連絡会」と「ほ도가やケアマネット連絡会」で医療との連携をテーマに勉強会と情報交換会を行い、関係機関によるネットワーク作りの構築を図りました。また、協力医の先生との共催である「ぷらざカフェ千丸台」の実施により、地域住民、ケアマネジャーとの連携に努めました。今後さらにケアマネジャーなど関係機関の参加を広げていけたらと考えています。
- 今後の予定
 - ・2月：「地域ケア会議」
事例：千丸台地区で精神疾患のケース
担当の医療機関の先生に参加してもらい今後のケアに向けて検討します。
 - ・2月18日：保土ヶ谷区合同ケアマネ連絡会
テーマ：多職種連携
医療機関、ケアマネジャー、サービス事業者を対象に、医療依存度の高いケースの事例検討会を開催します。
 - ・3月16日：ケアマネ連絡会（20日会）
テーマ：医療と介護の連携
上菅田エリアに関わっている医療機関、民生委員、ケアマネジャーで事例検討会 & 情報交換会を行います。

ケアマネジャー支援

- （目標）
- ・相談への支援、支援困難ケースへの支援、緊急対応時の支援等を随時行いました。またエリア内居宅支援事業所への訪問は今後の課題です。
- ・区内7包括で合同開催している「合同ケアマネ連絡会」と保土ヶ谷区居宅事業所連絡会「ほ도가やケアマネット」、上菅田エリアの連絡会「20日会」で講師を依頼しての研修会や事例検討会を開催し、ケアマネジャーのスキルアップに努めました。合同ケアマネ連絡会に関しては、昨年よりも参加者が増えてきており、参加定員を超える時が多く人数調整を行っている状況です。
- 合同ケアマネ連絡会
計画通りの内容で8回開催
- ケアマネ連絡会（20日会）
 - ・7月24日：民生委員との合同研修会を開催
 - ・1月20日：スピリチュアルケアをテーマとした研修会と情報交換会を予定しています。
- ほ도가やケアマネットで4回の研修会と役員会に参加し、居宅支援事業者との連携、情報交換に努めました。
- 新人、就労予定ケアマネジャーへの支援として、例年通り研修会を実施しました。4日間通して大変好評でした。（新任ケアマネジャー参加者7名）
また、今までに開催した新任ケアマネ研修の参加者を対象としたフォローアップの研修会は、開催できていないので年度内に開催できたらと考えております。

多職種協働による地域包括支援ネットワーク

- 地域ケア会議の実施
 - ・9月16日：笹山地区のケース
 - ・12月17日：笹山地区のケース（2回目）
 - ・2月開催予定：千丸台地区のケース
3回開催。関係機関と課題解決に向けて検討し、現状と今後の方向性を共有しました。
- 結果、良かったことは関係機関で情報の共有ができ、ケアマネジャーの負担が軽く

なったこと、反省点としては地域の関係者にもっと参加してもらい、地域の理解を深めるための話し合いがもう少しできたら良かったと思います。また今年度、上新地区のケースが実施できなかったのも、来年度検討したいと思います。

○保土ヶ谷区合同ケアマネ連絡会

- ・2月18日開催予定

区役所、保土ヶ谷在宅医療相談室との共催。医療機関、サービス事業者、ケアマネジャーを対象に事例検討会を開催予定

介護予防事業

介護予防事業

【介護予防普及啓発事業】

- ・千丸台地区・笹山地区でのロコモ予防講座は、担当者不在の中、包括2職種の協力により実施できた。
講座の実施計画を再検討し、残り3ヶ月で選定した地域での、有効な講座開催に努めたい。
- ・「千丸台文化祭&福祉バザー」「ほっとな福祉・健康まつり」の2イベントに於いて、アイパッドを用いたゲーム『脳内年齢測定』と、医師が推奨する脳トレ『エクサドン』の体験を行った。
新しい試みで、地域高齢者も関心が高く、反応が大きかった。自身でアイパッドに触れ、ゲームを通して計算や記憶能力を測ることは新鮮で楽しく、斬新だったと考える。
また、太鼓は誰にでも馴染める楽器で人気があり、今後もプラザに太鼓がある強みを生かしたい。

【地域介護予防活動支援】

- ・地域自主活動団体への支援である『コグニサイズ研修』は、包括2職種と区地区担当保健師の連携により、多数の活動団体リーダー及び希望者に実施できた。
区域講座終了後3週間弱の早期に研修を開催し、受講リーダーが地域活動に生かせるよう、包括域研修で更にフォローアップしたことで、区域事業と包括事業との連携が図れ、効果的であったと考える。
- ・区地区担当保健師の協力により、立ち上げ後1年間後方支援してきた「ぶらぶらノルディック」「サロン南風」のきらり☆シニア塾へ移行できた。
- ・計画した地域自主活動団体連絡会の実施ができていないため、今年度内の実施を目指す。

平成27年度 地域ケアプラザ収支報告書

施設名：上菅田地域ケアプラザ

平成27年4月1日～平成28年3月31日
(単位：千円)

	科目	地域活動交流	地域包括支援センター			居宅介護支援	通所介護	予防通所介護
			包括的支援	介護予防事業	介護予防支援			
収入	指定管理料等収入	19,530	25,105	149				
	介護保険収入				9,897	11,631	47,059	5,907
	その他					272	522	
	収入合計(A)	19,530	25,105	149	9,897	11,903	47,581	5,907
支出	人件費	11,705	20,940			10,776	34,391	
	事務費	1,148	854			349	3,540	
	事業費	652	55	149		294	8,344	
	管理費	5,342	1,420					
	委託費				5,659			
	その他							
	修繕費	474	126					
	協力医謝金		756					
	運営協議会費用	12						
	消費税	936						
体制強化に伴う物品購入		310						
本部等繰入						2,457		
	支出合計(B)	20,269	24,461	149	5,659	11,419	48,732	0
収支 (A) - (B)		(739)	644	0	4,238	484	(1,151)	5,907

10,292 35,542 (5,907)

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業(認知症対応型通所介護等の事業)を実施している場合は、事業ごとに列を増やして同様に記載をしてください。

※精算書をベースに作成してください。

平成27年度 自主事業収支報告書

事業名	①主な対象	自主事業決算額					
	②延べ参加人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		委託料	参加費	講師謝金	材料費	その他
千丸台地区 ロコモ予防講座	高齢者	16,705			16,705		
	17人						
	0						
笹山地区 ロコモ予防講座	高齢者	16,705			16,705		
	14人						
	0						
千丸台地区 栄養講座	高齢者	11,137			11,137		
	21人						
地域自主活動G連絡会 (アイスブレイク研修)	自主Gリーダー	22,274			22,274		
	27人						
	0						
ボランティア育成研修 (コグニサイズ)	自主Gリーダー	24,874			22,274		2600 自治会館使用料
	24人						
	0						
配食サービスまんまる	高齢者	408,999		432,000		408,999	
	1402						
	400						
ミニデイてらん森の友	高齢者	116,688		91,500		116,688	
	456						
	300						
てらんカフェ	地域	119,620		112,850		119,620	
	524						
	50~100						
てらん茶屋	地域	62,861		45,850		62,861	
	300						
	0~150						
きらきらコパン	乳幼児	10,798		5,200		10,798	
	90						
	100						
エアロビクス教室	地域	122,507		21,500	122,507		
	46						
	500						
てらんこども太鼓	子ども	53,768		11,000			53,768
	266						
	通常無料年1回のみ500円						
うまれるずっといっしょ上映会	地域	65,310		20,500			65,310
	51						
	500						
楽しく健康体操	高齢者	50,000		0	50,000		
	44						
	0						

平成27年度 自主事業収支報告書

笹山夏祭り	地域	13,975		13,900		13,975	
	500						
	100						
千丸台文化祭&福祉バザー	地域	40,045		11,900		40,045	
	1000						
	100						
まんまるフェスタ	地域	230,000		0			230,000
	2500						
	0						
夕焼けどんどこフェスティバル	地域	29,842		0		29,842	
	250						
	0						
ボランティア懇親会	その他	99,855		0		99,855	
	42						
	0						
ぷらざカフェ千丸台	その他	6,899		0		6,899	
	328人						
	0						
ぷらざカフェ笹山	その他	24,708		0		4,708	20,000
	318人						
	0						

事業ごとに別紙に記載してください。

平成27年度 自主事業報告書

上菅田地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
区内合同ノルディックウォーキング	<p>目的：区内でノルディックウォーキングの活動をする愛好者たちの交流及びノルディックウォーキングの普及啓発を図る。</p> <p>内容：各ケアプラザで活動している参加者を対象に、保土ヶ谷公園をウォーキングする。各グループリーダーより活動紹介の時間を持ち、交流の機会とする。</p>	年1回 10月

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
オレンジロボの会	<p>【目的】</p> <p>①ケアプラザ担当地域におけるキャラバンメイトの自主的な組織化を図る。</p> <p>②ケアプラザ主導となってサポーターを増やす活動を通じて地域における認知症の方の見守り活動を広げていく。メイトを増やしていく。</p> <p>【対象】</p> <p>キャラバンメイト</p> <p>【内容】</p> <p>定期的に会合を持ち年間計画をたてていく。</p>	年に数回の不定期開催。因みにH27年度は4、11、1月に行う。

事業名	目的・内容	実施時期・回数
認知症サポーター養成講座	<p>【目的】</p> <p>サポーター養成講座を開催することで、認知症の偏見をなくして正しく理解をしてもらい見守りサポーターを増やす。</p> <p>【対象】</p> <p>地域住民</p> <p>【内容】</p> <p>小中学校を中心にして地域での自治会館などで講座を行いサポーターを増やす。</p>	H27年度は述べ9回行い、566名の参加がある。

事業名	目的・内容	実施時期・回数
行政書士のミニ講座	<p>【目的】</p> <p>①独居や高齢世帯が多い中で、終活（人生の老い支度）という相談対応から、普段あまり関係のない行政書士の仕事内容など理解する。</p> <p>②個別ニーズ等があれば、そのまま個別相談にもあてる。</p> <p>【対象】</p> <p>地域住民</p> <p>【内容】</p> <p>①行政書士の仕事を理解してもらう。</p> <p>②成年後見を中心にして終活についてご自身やご家族について考える機会を設ける。</p>	9、10、11、12月の4回に分けて、それぞれ2回ずつ笹山団地と千丸台団地にて行う。

平成27年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
介護のひろば	<p>【目的】 地域で要介護の方を介護されているご家族・ご本人、或いは介護に関心のある方を対象に講座や勉強会など設けて情報交換を主に行う。ご自身やご家族の今後の方向性など検討できる機会とする。</p> <p>【対象】 地域住民</p> <p>【内容】 定期的に施設見学会を行う。施設にも色々種類があるので、料金やサービス内容など含めて施設の形態を理解する。</p>	6月に有料老人ホームと11月にユニット型特養の見学会を行う。

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ぷらざカフェ千丸	<p>【目的】 ①地域に出向き専門職がお話を伺い、関係機関の紹介や地域の情報提供を行う身近な相談窓口とする。 ②講座開催を通じて周知啓発を図ると共に、しゃべり場として顔の見える関係づくりに努める。</p> <p>【対象】 地域住民</p> <p>【内容】 ①生活支援センターと共催、精神保健福祉士を交えて地域精神疾患の方のつどい ②施設協力医による医療相談 ③包括による介護予防、終活などの講座開催と軽食会</p>	偶数月第2水曜日 毎月第4水曜日の 13:00～14:00 ※8月と12月は休み

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ぷらざカフェ笹山	<p>【目的】 ①地域に出向き専門職がお話を伺い、関係機関の紹介や地域の情報提供を行う身近な相談窓口とする。 ②講座開催を通じて周知啓発を図ると共に、しゃべり場として顔の見える関係づくりに努める。</p> <p>【対象】 地域住民</p> <p>【内容】 ①包括による介護予防、終活などの講座開催と軽食会 ②同時に介護予防目的に麻雀や囲碁、将棋と和太鼓教室を提供している。</p>	毎月第4火曜日の 10:00～15:00 ※8月と12月は休み

事業名	目的・内容	実施時期・回数
介護予防普及啓発事業	<p>目的：地域に出向き健康寿命を伸ばすための講座を開催し、介護予防の普及啓発を図る。そして、高齢者が学んだ知識を自らの生活に取り入れ、できるだけ自立した生活が続くことを目指す。</p> <p>内容：介護予防の必要性、ロコモティブシンドローム予防と運動指導、口腔機能向上、栄養改善、認知症予防のための脳トレや太鼓演奏の実施。</p>	年26回

平成27年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
地域介護予防活動支援	<p>目的：地域自主活動グループの活性化支援や、立ち上げた活動グループの育成支援及び自主化を図り、「きらり☆シニア塾」に移行できる。</p> <p>内容：①ボランティアリーダー育成、介護予防知識技術の向上 を目指すスキルアップ研修の開催。 （コグニサイズ研修） ②地域自主活動グループ連絡会の開催。 （アイスブレイク研修を兼ねる） ③各グループ活動内容のアセスメントと運営支援</p>	年11回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
地域イベント	<p>目的：地域まつり（千丸台福祉バザー・ほっとな福祉健康まつり）で、『認知症予防』をテーマとした介護予防ブースを設置し、地域住民へ介護予防の普及啓発及び地域包括支援センターの周知を図る。</p> <p>対象：高齢者 内容：アイパッドを用いた脳年齢測定と太鼓を用いた脳トレ「エクサドン」の体験の実施。包括支援センターの周知及び自主事業の紹介。</p>	年2回 10月

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ミニデイサービス てらん「森の友」	<p>目的：原則として介護保険によるサービスを利用していない高齢者（主に独居者）へ、引きこもり防止のために外出の機会を提供する。</p> <p>内容： 4月花見&レク 11月創作&ゲーム 5月生演奏で歌う会 12月クリスマス会 6月コンサート 1月新年会 7月大正琴 2月太鼓で笑って楽しく健康法 8月夏祭り 3月お楽しみ会 9月千丸台保育園交流 10月運動会</p>	第2土曜日 (12回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
配食サービス まんまる	<p>目的：独居高齢者、食事作りが困難な方への支援 内容：1食400円のお弁当を配食する 対象：主に上菅田町、新井町在住の高齢者</p>	第1・2・3水曜日 (31回)

平成27年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
健康づくり教室	目的：高齢者の健康と体力の維持、向上 内容：高齢者向けの健康体操 対象：高齢者 共催：健康リーブくらぶ	毎月第1、3木曜日 (24回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
てらんクラブ (親子体操教室)	目的：発達機能や情緒を養う。 内容：親子で楽しみながら体を動かす。 対象者：就学前親子 共催：健康リーブくらぶ	毎月第1、3木曜日 (24回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
てらんカフェ	目的：地域の方々の憩い・交流の場として、またボランティア人材発掘のため 内容：ボランティアによる喫茶サービス 対象：地域	毎週木曜日 (47回)

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
おもちゃ図書館	目的：近隣地域の子育て中の親子へ仲間づくりや交流による子育て支援 対象者：未就学児 内容：お部屋の開放。おもちゃ図書館にあるおもちゃやビデオ、絵本で遊んでもらう。	月曜日～土曜日 (67回)

平成27年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ビデオ・DVD・ 絵本 大型紙芝居等の 貸し出し	目的：近隣地域の子育て中の親子へ仲間づくりや交流による子育て支援 対象者：未就学児 内容：おもちゃ図書館にあるおもちゃやビデオ、絵本を貸し出す。	常時実施

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ふれあい館 ボランティア派遣 (ふれあい館運営委員会共催)	目的：保土ヶ谷区の空き店舗活用事業であるふれあい館を活性化し、地域交流の場としていく。 対象：地域 内容：地域の防犯拠点での留守番ボランティア。地域の方への格安での喫茶サービスも行う。	毎週水・金曜日 (34回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
地域の夏祭り 参加	目的：地域の夏祭りに参加し、繋がりを深めケアプラザを知ってもらおう。地域交流。 内容：出店、相談コーナー 対象：地域	8月 笹山

事業名	目的・内容	実施時期・回数
地域の福祉祭り 参加	目的：地域のお祭りに参加し、繋がりを深め近隣福祉事業所を知ってもらおう。 対象：地域 内容：出店、相談コーナー ・千丸台文化祭&福祉バザー ・ほっとな福祉健康祭り	11月 千丸台 11月 上新

平成27年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
まんまるフェスタ	<p>目的：ケアプラザ・てらん広場が中心となりお祭りを開催することで、障害を持ったてらん広場利用者への理解、地域との繋がり作りを図る。</p> <p>対象：地域</p> <p>出店：手作り食べ物、雑貨、地域作業所製品販売他、施設紹介コーナー、被災地作業所授産品の販売等</p> <p>ステージ企画：ダンス、歌、バンド演奏他</p>	10月 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
区民祭り	<p>目的：区民が多数来場する「区民まつり」に区内すべてのケアプラザの担当職員が参加することで、顔の見える関係づくりを図る。そして、ケアプラザが地域住民にとって身近で気軽に相談・活動できる施設であることを理解していただき今後の福祉保健活動へとつなげる。</p> <p>内容：自分のエリアのマップにお薦めの場所だけでなく、危険な場所なども記入してもらった。吹き出しの付箋を使用する事で地図上わかりやすくなるようにし、又区全体のマップを前方目立つように置いて来場者の興味がわくようにした。</p>	10月 1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
夏のプール遊び	<p>目的：地域ボランティアと子どもの交流、学生ボランティアの育成を図る。</p> <p>対象：未就学児</p> <p>内容：上菅田地域ケアプラザの中庭にビニールプールを出し、参加者と学生ボランティアと一緒に遊ぶ。</p>	7月 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
楽しく健康体操	<p>目的：この事業開始当初は介護者支援講座の一環として始まった為、介護者同士の交流や気分転換が主目的であった。しかし、介護予防の観点から自分自身の介護予防が主目的になっている。また、地域の転倒骨折予防教室グループのリーダー研修としても利用されるようになってきている。</p> <p>対象：体操に興味のある高齢者の方</p> <p>内容：お手玉やタオルを使った体操など</p> <p>講師：日永保美先生（ヤン・スポーツ企画）</p>	6月、12月（2回）

平成27年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
喫茶コーナー	目的：喫茶サービスによる憩いの場づくり。 対象：地域 内容：受付カウンターにてコーヒーサービス。	常時実施

事業名	目的・内容	実施時期・回数
福祉作業所 製品販売・調整	目的：障がい者の福祉向上と製品販売によるより良い地域交流 対象：地域 内容：近隣福祉作業所の小物、パンやお菓子、味噌、豆腐などの販売・調整	常時実施

事業名	目的・内容	実施時期・回数
買い物 「おたすけマン」	目的：千丸台団地高齢者、障がい者への買い物支援、千丸台商店街の活性化、幸陽園利用者の社会参加 対象：千丸台団地在住の高齢者・障がい者 内容：千丸台団地在住の高齢者・障がい者を対象に、幸陽園利用者が千丸台商店街・自治会・地区社協と連携して、高齢者の買い物を代行する。	月～金曜日 (136回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
配食 「おたすけマン」	目的：笹山団地高齢者、食事作りが困難な方への支援 対象：笹山団地高齢者、障がい者 内容：法人内の障がい者施設の幸陽園を利用している障がい者がお弁当を作り、プラザボランティアと一緒に笹山団地にお住いの高齢者・障がい者にお届けしている。	配達：毎週木曜日 回収：毎週金曜日 (103回)

平成27年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ゴミだし 「おたすけマン」	目的：千丸台団地高齢者・障がい者へのゴミだし支援、てらん広場利用者の社会貢献 対象：千丸台団地高齢者、障がい者 内容：資源循環局のふれあい収集をケアプラザ・てらん広場が引き継ぎ、てらん広場の利用者と職員が安否確認を兼ねたゴミ回収を行う。	月～金 (259回)

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
千丸台朝市	目的：千丸台の朝市に参加し、繋がりを深め上菅田地域ケアプラザを知ってもらう。 対象：地域 内容：模擬店、フリーマーケット	偶数月第1日曜日 4月、6月、10月、 12月、2月 (5回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
てらん茶屋	目的：地域住民である子ども、大人、高齢者、障害児者の憩いの場・ふれあいの場としている。 内容：男性料理教室を卒業した3名がボランティアとして、手作りケーキ等を提供している。	第3土曜日 (10回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
きらきらコパン	目的：近隣地域在住で、子育て中の親子への仲間作り、交流の場を提供。季節に応じたイベント、子育て支援の情報を提供。 講師：うさちゃんクラブ 内容：7月：うちわづくり 12月：クリスマス会 3月：新聞あそび	7月・12月・3月 (3回)

平成27年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
てらんこども太鼓	<p>目的：障がいのある子とない子が地域の一員として当たり前暮らし、関わりをもち、地域の中で一緒に学べる場の提供。</p> <p>内容：個別支援学級と一般学級に通う子ども達の合同太鼓教室</p> <p>対象：上菅田、新井、笹山の小・中学校に在学の個別支援学級、一般学級に通う子ども達</p> <p>講師：ほ도가や希望の家 島田 直樹 氏</p>	第4日曜日 (12回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ボランティア懇親会	<p>目的：登録ボランティアの交流、ボランティアを労う</p> <p>対象：登録ボランティア</p> <p>内容：昼食を食べながらの交流会。各団体のメンバーより、各事業の説明や自己紹介など</p>	2月：1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
エアロビクス教室 アン・ドゥ・トロワ	<p>目的：地域住民の健康づくりとして、音楽に合わせた運動と脳トレ教室。若い世代から運動習慣をつける機会の提供。</p> <p>内容：音楽に合わせて体を心もリフレッシュ、楽しく体を動かし運動の中に脳トレを取り入れる。</p>	月1回（土曜日） 11回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ケアプラ文化祭	<p>目的：貸室利用している団体が日頃の練習成果を発揮できる場を提供。地域住民を招くことで、貸室利用している教室への参加のきっかけづくりを図る。</p> <p>対象：地域住民</p> <p>内容：貸室利用団体によるコンサート、展示</p>	12月

平成27年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
どんどこ太鼓B	<p>目的：地域住民の健康づくり、介護予防の一環として行う太鼓教室。リズムを覚えて太鼓を叩くことにことごとくによって脳の活性化と体力の向上を図る。</p> <p>対象：地域の高齢者</p> <p>内容：太鼓の練習と地域のおまつり等で太鼓演奏を行う。</p>	月1回（日曜日） 12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
パパデー	<p>目的：近隣地域在住で、子育て中の親子の仲間作り、交流、情報提供による子育て支援。</p> <p>日頃利用の少ない若い世代の男性の参加を図る。</p> <p>パパ発信の活動にもつなげる。</p> <p>内容：バランスボールであそぼう</p> <p>対象：首がすわった 0歳～未就学児（主に3歳まで）</p>	8月：1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
てらんこども太鼓&なかまの輪太鼓交流会	<p>目的：法人内グループホームの障害者で結成されている成人和太鼓チーム「なかまの輪太鼓」とケアプラザ自主事業の「てらんこども太鼓」が太鼓を通じて参加者同士の交流を図る。また、お互いの演奏を観ることで、活動への意欲向上を図る。</p> <p>内容：それぞれチームの練習の成果を発表し合い、その後一緒に演奏した。太鼓演奏後は交流会を開催。餅つき大会をし、自分でついた餅とこちらで用意したお弁当を食べながら交流を図った。</p>	8月：1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
障害者余暇支援事業 ほっとフレンズ なつ	<p>目的：学齢期障害児への長期休暇中の余暇支援とその御家族へのレスパイト。また、ボランティア育成。</p> <p>対象：学齢期障害児、高校生以上ボランティア</p> <p>内容：夏祭り&イベント体験を実施。参加者とボランティアがペアになり、模擬店とダンス演技、和太鼓演奏の鑑賞を楽しんだ。</p>	8月：単発 ※説明会がある為 計2回

平成27年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
障害者余暇支援事業 ほっとフレンズはる	目的：学齢期障害児への長期休暇中の余暇支援とその御家族へのレスパイト。また、ボランティア育成。 対象：学齢期障害児、高校生以上ボランティア 内容：春祭り&イベント体験を実施。参加者とボランティアがペアになり、模擬店と腹話術の鑑賞、バルーンアートの体験を楽しんだ。	3月：単発 ※説明会がある為計2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
夕焼けどんどこフェスティバル	目的：肢体不自由、知的障害を持った子どもとその親を対象に余暇を実施し、親子で楽しめるプログラムを提供。 内容：上菅田特別支援学校、個別支援級の親子を対象に余暇を実施。コンサート、模擬店、花火を楽しんだ。模擬店は地域のボランティアグループに依頼。	9月：1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
映画「うまれるずっといっしょ」上映会	目的：地域で取り組む子育て支援を知らない方が多くいるため、子育て支援連絡会や支援者を知って頂く機会を作る。子育て支援連絡会のメンバー同士の関係性をより深め、支援者同士連携し取り組んでいこうというモチベーション向上を図る。 内容：少子化が進む一方、虐待件数は年々増加している。虐待予防の一環として命の尊さをテーマにした「うまれるずっといっしょ」という映画の上映会を開催。対象者を制限しないことで地域の中で見守りできるネットワーク構築を図る	11月：1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
もうすぐクリスマス「マリーンシャトルに乗ろう」	目的：障がい児に「新たな出会いの場」「生活経験を拡大できる場」「充実したひと時を過ごせる活動の場」を提供する。親子で安心して外出のできる活動場所を地域の資源を利用して親子同士、交流を図る。 内容：横浜振興協会で行っているマリーンシャトルに乗船し、港内を一周する内容を利用し、親子参加での外出企画を開催。又、乗船前に中華街で昼食をとりながら皆で交流会も行った。	12月：1回

平成27年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
まんまるキッズ	<p>目的：近隣地域在住で、子育て中の親子の仲間作り、交流の場を提供。子育て支援の情報を提供。 また、父向けイベントやデイサービス高齢者との多世代交流も実施していく。</p> <p>内容： 5月「パパと一緒にお母さんにプレゼント」 （申し込み少の為中止） 10月「ハロウィンでおじいちゃんおばあちゃんと交流会」 2月「節分豆まき、小鬼を作ろう」（雪の為中止）</p>	10月：1回